



公立学校共済組合
四国中央病院

日本医療機能評価機構認定病院

しこく

ホームページアドレス <http://www.shikoku.ne.jp/ctr-hsp/>

公立学校共済組合
三島医療センター
開院記念
特別号

住所: 愛媛県四国中央市川之江町2233番地 TEL(0896)58-3515 FAX(0896)58-3464



今月の内容

- ◇愛媛県立三島病院の移譲を受けて…………… 四国中央病院長 森本忠興 2
- ◇三島医療センターに就任して…………… 三島医療センター長 西山誠一 3
- ◇病院概要…………… 4・5
- ◇新任医師紹介・新任職員紹介…………… 6・7
- ◇外来診療担当医表…………… 8

愛媛県立三島病院の 移譲を受けて

四国中央病院長
森 本 忠 興



昨年9月、県立三島病院移譲の優先交渉権者に選定されて以来、医師確保のために、愛媛県、愛媛大学等と交渉を重ねて参りました。本年2月15日、愛媛県、県公営企業局、公立学校共済組合の3者間で基本協定が結ばれ、県立三島病院の移譲が決まりました。

まず、私ども共済組合が、県立三島病院移譲に応募した動機について申し上げます。宇摩地区と近隣地区の病院の一般病床を比較すると、宇摩地区では、病院の一般病床が足りません。100～200床規模の病院が林立し、中核病院が存在せず病診連携も進んでおらず、近隣市病院へ患者流出（外来20%、入院40%）がみられ、そのうえ医師が集まらない。これらの理由が悪循環を生んでいると考えられます。そこで、四国中央病院は、宇摩圏域の医療を守る事を大義名分として、人口（約9.5万人）に見合った新たな病床350床規模の地域中核病院を構築し、この中核病院構築が医師集約に繋がること、地域医療連携を促進させ地域完結型医療を可能にすること等を考えて、「県立三島病院の移譲公募」に応募いたしました。しかしながら、今すぐには、350床規模以上の中核病院をつくる事はできません。なぜならば、地域医療崩壊が進む中での医師需給の現状、現在の病院の老朽化（各々の病院が築16年、18年）の現状、他の直営7病院の改築計画等、様々なファクターがあり、今すぐ対応できません。当面は、四国中央病院を本院とし、三島病院は「三島医療センター」として、それぞれ機能分担して、将来、三島地区に中核病院の再建築を目指すことを目標としております。

さて、我々を取り巻く地域医療の破綻、とくに勤務医師不足はひどいものです。そもそも愛媛県立三島病院の民間移譲の原因は、地方の公立病院の医師不足による長年の累積赤字が原因です。国は、やっと医療再生を検討し始めて、医療費削減の中止、医学部定員増、卒後臨床研修制度の見直し等が行われています。この結果が地方病院にまで還元されるのはまだ先のことですが、早い時期に地域医療の活性化が図られることを望んでおります。本年4月から県立三島病院の移譲を受けた後は、国の地域医療再生基金等により病床増、診療機能アップ、地域医師会との連携推進等をはかり、本院がこの地域の中核病院として、地域医療発展のために頑張ります。また、患者さんや医師を含めた医療従事者にとって魅力ある病院になる事をめざしたいと思っております。

最後に、職員をはじめ地域住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。ご挨拶に代えさせていただきます。（2010.4.1）

三島医療センターに就任して

三島医療センター長
西山 誠一



公立学校共済組合三島医療センターが、旧・愛媛県立三島病院から生まれ変わって新たな一歩を踏み出しました。荒海の中に小さな櫓船を漕ぎだした状態で、波の大きさや風の強さに大きく影響されながらも櫓をこぐ力や舵取りの技でその進むべき先に向かわなければなりません。大きな流れの中で、その波に流されるだけでなく、もちろん沈没することもなく、流れの中に独自の一条を示せる存在で在ることを目指したいと思っています。

言うまでもなく、三島医療センターが歩みを始めたのは地域が医療崩壊という大きな波に呑み込まれた結果です。地方の公立病院の慢性的な赤字体質と医師不足のため旧・県立三島病院が本来果たすべき役割を担うことが出来なくなったことが崩壊の大きな原因でした。四国中央市の医療を守るためには、四国中央市の中心部に自己完結型の中核病院があり中核病院と地域の医療機関が連携して医療に取り組むことが大切です。この目的のため公立学校共済組合は旧・三島病院の移譲を受けましたが、残念ながら、直ちに中核病院を建設できる状況にありません。二つに分かれたままではありますが、四国中央病院と三島医療センターが一体となって対応することで今まで以上に地域に必要な医療を提供し、かつ、提供できる医療の質を高めたいと思っています。

診療機能を高めるためには、どうしても医療資源の集約化が必要です。四国中央病院と三島医療センターについても、まずは四国中央病院の体制を強化することから始めざるを得ません。しかし、東西に長い四国中央市の地理的条件などを勘案すると旧三島地域に一定レベル以上の診療機能を持つ病院があることも必要です。三島医療センターがその任に当たるべきとの認識に立ちながら、四国中央病院への集約化との兼ね合いで三島医療センターとして出来る最大限のことをして行く覚悟です。

三島医療センターは入院病床 59 床の内科を中心としセンターとしてスタートしました。内科常勤医 2 名で、外来には県立中央病院と四国中央病院からそれぞれ 2 名の応援を得ています。整形外科は四国中央病院からの応援で月・水・金曜日の外来を行っています。入院は内科中心で、外科系は四国中央病院に入院することになっています。医師数は減りましたが、診療機器は今迄通りありますので例えば CT や MRI など何時でも望みの時に撮れるなどある意味では快適な環境にもあります。このような環境を生かして診療の質を保ちたいと思っています。ただ、消化器系など力不足のところは四国中央病院との連携で解決していく予定です。また、地域の救急医療に貢献する必要があるとの思いから、二次救急輪番にも参加しています。ただし、外科系疾患については三島医療センターでは対応できませんので、四国中央病院で対応する体制としています。

地域の医療状況の中で、三島医療センターは求められているものに答えられていないということは身にしみて感じています。何をやるにしても、持ち合わせている駒も使う知能も不足している状況だと思っています。しかし、あれが出来ないこれが出来ないと嘆くのではなく、あれが欲しいこれが欲しいと無いものねだりをするだけでもなく、今ある状況を受け入れて今出来る全てのことを続けていけば新たな展望が開けるのだろうと思っています。出来ることを出来るように実践していこうという理念のもとに、三島医療センターは今後の歩を進めていく所存です。どうぞ、宜しくお願いいたします。

公立学校共済組合 四国中央病院 三島医療センター の概要

病院理念

『真心・信頼・連携・思いやり』

基本方針

- 1 患者様に信頼される心のもった病院を目指します。
- 2 安全で質の高い医療を目指します。
- 3 地域と職域に連携した安心できる医療を目指します。
- 4 職員各自が協調して、経営の健全化を目指します。
- 5 こころのバリアフリーを目指します。

患者さんの権利と責務

- 1 良質で公平な医療を受ける権利。
- 2 診療内容について十分な説明を受け、自らの意思で選択・決定する権利。
- 3 診療内容について質問する権利と情報開示を求める権利。
- 4 個人情報・プライバシーが保護される権利。
- 5 個人として人格、価値観などが尊重される権利。
- 6 自分の健康に関する情報を出来るだけ正確に提供する責務。
- 7 他の患者さんの診療に支障をきたさないように配慮する責務。

三島医療センター 四国中央市中之庄町 1684 番地 2 TEL.0896-23-2515

- 開設 平成22年4月1日
- 管理者 センター長 西山誠一
- 標榜科 内科、呼吸器科、循環器科、整形外科、放射線科
- 病床数 一般55床 感染4床
- 施設 人工透析室



三島医療センター外来診療担当医表

		月	火	水	木	金
内 科	午前	佐竹 野本	洲脇 野本	西山 井上	西山 井上	西山 野本
	午後	禁煙外来		糖尿病外来 (井上)	相原	
整形外科	午前	加地		加地		寒川

受付時間 8:30~11:30 診療開始 9:00
月・水の午後(禁煙・糖尿病外来)は予約制です。

四国中央病院

四国中央市川之江町 2233 番地
TEL.0896-58-3515

- 開設 昭和34年5月15日
- 管理者 病院長 森本忠興
- 標榜科 内科、精神科、神経科、消化器科、小児科、外科、整形外科、成形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科
- 病床数 一般209床、精神50床
- 施設 内視鏡センター、健康管理センター、人工透析室



午前の診療

外来診療表

診療時間・担当医は都合により変更する場合がございますので、予めご了承ください。

	月	火	水	木	金
消化器科	多田	柴	多田	柴	郷司
循環器科	竹谷	若山	若山		相原
内科	若山 洲脇	長谷 相原	長谷	郷司 洲脇	長谷 福田(新患)
神経精神科 ^{1診 2診}	谷口	白石	谷口	白石 石口	白石
小児科	村尾	井上	藤井	村尾	井上
外科	松山	三浦 森本	松山 森本	木下	三浦 森本
整形外科 ^{1診 2診}	小寒 林川	新加 居地	新寒 居川	小寒 林川	新加 居地
形成外科 皮膚科	須永 石上	須永	須永 飛田	須永	須永
泌尿器科	瀧川 小島	仙崎 小島	小島 仙崎	仙崎 瀧川	小島 仙崎
産婦人科 ^{1診 2診}	坂本(予約) 濱田	濱田(予約) 坂本	田村(予約) 濱田	矢野(予約) 田村	田村(予約) 矢野
眼科	香留		林		
耳鼻咽喉科	遠藤	遠藤	遠藤	遠藤	遠藤
放射線科	川井	武田	川井	川井	川井

受付は8:30~11:30、診療は9:00からです。

- ◇神経精神科 初診は完全予約制です。※必ず事前に予約をおとりください。(電話受付時間 平日12:00~16:00)
- ◇小児科 木曜日の受付時間は11:00までです。
- ◇外科 セカンドオピニオン相談(森本院長・田代名誉院長)、特殊乳腺外来(森本院長)は予約制です。
- ◇整形外科 月・水・金曜日の受付時間は11:00まで、火・木曜日の受付時間は10:30までです。
- ◇産婦人科 火・木曜日の受付時間は11:00までです。
- ◇耳鼻咽喉科 木曜日の受付時間は11:00までです。

午後の診療

	月	火	水	木	金
内科(総合)	相原(予約)	和田(予約)	和田(予約)	柴(予約)	和田(予約) 郷司(予約)
小児科	井上(予約) (循環器)	予防接種	村尾(予約) (慢性疾患)	乳児健診 藤井(予約) (神経外来)	藤井(予約) (慢性疾患)
外科専門外来 (予約)	化学療法外来	化学療法外来 血管・リンパ外来 (第2・4) 肝・胆・膵外来 (第1・3)	化学療法外来	化学療法外来	化学療法外来 ストーマ外来 (第2・3) 乳腺健診外来
整形外科	関節外来(予約)		松岡(予約)		予約
形成外科		予約		予約	
産婦人科 ^{1診 2診}	矢野(予約) 坂本	母親学級	坂本(予約) 田村		濱田(予約) 矢野
眼科				坂口	
耳鼻咽喉科			遠藤		遠藤
放射線科	武田	川井	武田	武田	武田

- ◇小児科 月・水・木・金曜日の診療(完全予約制)の受付時間は13:30~16:00までです。
火曜日の予防接種(13:00~15:00)・木曜日の健診(12:45~14:00)は予約制となっています。
- ◇外科 血管・リンパ外来(受付時間12:30~14:00 診療開始14:00 加藤名誉院長)は第2・4火曜日です。
肝・胆・膵外来(受付時間12:30~15:00 診療開始14:00 田代名誉院長)は第1・3火曜日です。
乳腺健診外来は13:00~15:00までです。
- ◇整形外科 月・水・金曜日の外来(予約)は14:00~15:30までです。
- ◇産婦人科 受付時間は13:30~15:00、診療開始は14:00です。
- ◇眼科 受付時間は木曜日13:00~16:00、診療開始は14:00です。
- ◇耳鼻咽喉科 受付時間は13:00~15:00、診療開始は14:00です。

しこく

第42号 平成22年6月10日

発行
〒799-0193 愛媛県四国中央市川之江町2233 公立学校共済組合四国中央病院
http://www.shikoku.ne.jp/ctr-hsp/ e-mail s-tyuou@shikoku.ne.jp

編集人 広報・年報委員会委員長 三浦 連 人